

免許状教科	中学校 1 種（社会）・高等学校 1 種（地理歴史・公民・商業）			
科目名	総合的な学習の時間の指導法	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Period for Integrated Study	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
		開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中	
ふりがな	のぐち とおる	修得単位	1 単位	
担当者名	野口 徹	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	総合的な学習（探究）の時間の意義と特質、指導方法について知るために、総合的な学習（探究）の時間に関わる理論と実践例に共通する特徴を理解し、指導計画を作成できるようになることを目的とする。			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 ・総合的な学習（探究）の時間の意義と、基盤となる問題解決的な学習を重視した教育思想を説明出来る。 ・学習指導要領に示されている総合的な学習（探究）の時間の目標と内容、実践上の課題とその解決方法について説明出来る。 ・総合的な学習（探究）の時間を実践する具体的な手立てや総合的な学習（探究）の時間の指導計画の作成方法を説明出来る。			
授業概要	この授業は、総合的な学習（探究）の意義と指導方法を知り、総合的な学習（探究）の時間を実践する上での課題解決する能力を身に付けるものである。資料・スライド・ビデオ等を活用した講義と内容に関するディスカッション等の演習を並行的に行う。また、指導計画を作成するワークショップも取り入れる。			
授業計画				
第1回	オリエンテーション 「総合的な学習（探究）の時間」とは			
第2回	近・現代の教育思想から見る「総合的な学習」—アメリカの「進歩主義教育」と日本の「新教育思想」から			
第3回	我が国における総合的な学習（探究）の時間の実践例の検討①兵庫県たつの市立小宅小学校の実践			
第4回	我が国における総合的な学習（探究）の時間の実践例の検討②山形県朝日町立朝日中学校・静岡県富士市立高校の実践			
第5回	総合的な学習（探究）の時間の理論と学習指導要領（カリキュラム・マネジメント）			
第6回	総合的な学習（探究）の時間の目標と指導計画の作成			
第7回	総合的な学習（探究）の時間の指導計画作成ワークショップ			
第8回	総合的な学習（探究）の時間の指導計画の相互交流・討議			
第9回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 授業前に、生徒のときに経験した総合的な学習の時間で最も印象的な「学習内容」と「具体的な学習活動」。それらに関する感想をノートに必ずまとめておいてください。第1回のオリエンテーションの時間にこの内容について交流し合います。（1.5時間程度） 2. 初日終了時に授業内容をまとめるレポートを課します。これを初日の授業内容の復習とします。二日目の最初の時間に提示してもらいます。（1.5時間程度）			
履修条件 受講のルール	テキストと参考文献を必ず購入してください。			
テキスト	総合的な学習の時間の指導法（2018年10月 日本文教出版）			
参考文献・資料	中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編（2017年7月 文部科学省）もしくは高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編（2019年3月 文部科学省）（取得予定免許の学校種のものを選択）			

成績評価の方法	<p>【毎時ミニレポート(40%)、初日の内容に関するレポート(30%)、定期試験(30%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業内容の理解度が充分であるかを確認するため、毎授業終了時にミニレポートを課します。
オフィスアワー	
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	総合的な学習（探究）の時間を実際に指導する場面を想定して取り組むことが重要です。そのためにもこの学習の理論をしっかりと認識し、自らの学習経験と比較考察しながら取り組んでほしいと思います。